csih_web

差出人: csih@googlegroups.com は hidekih@wine.plala.or.jp の代理
送信日時: 2017年10月15日日曜日 11:00
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2017年10月15日発行
添付ファイル: 170922鈴木先生チラシ原稿.pdf; 新刊『生誕175年記念 臥雲辰致・日本独創のガラ紡ーその遺伝子を受け継ぐー』.pdf; 学会、研究会向け 愛岐トンネル群 インバート発掘調査会のお知らせ.docx

◆――◆

中部産業遺産研究会　ニュースレター　電子メール版　2017 年 10 月 15 日発行

◆――◆

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】
http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】
http://csih.sakura.ne.jp/index.html

【中部産業遺産研究会の書籍のご案内】
http://csih.sakura.ne.jp/syoseki.html

【 ＣＯＮＴＥＮＴＳ 】――――――――――――――――――――――――――――――

【１】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

【２】牟呂用水・松原用水の「世界灌漑遺産」登録について／天野武弘【New】

【３】ガラ紡を学ぶ会編著
『生誕 175 年記念 臥雲辰致・日本独創のガラ紡ーその遺伝子を受け継ぐー』
のご案内／天野武弘【New】

【４】トヨタ産業技術記念館「豊田佐吉生誕 150 周年特別企画 第五弾
特別展『引き継がれる佐吉の志 ～私たちの暮らし、トヨタグループと～』
11 月 12 日日曜日開催　鈴木一義先生講演会の参加申し込みについて【再送】

【５】「愛岐トンネル群」6 号トンネルインバート発掘調査会のお知らせ／山田貢【再送】

【６】産業考古学会　2017 年度全国大会(名古屋)のご案内【再送】

――

【１】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

――

●産業考古学会 2017 年度全国大会　2017/10/27～29
　プレ見学会　　2017 年 10 月 27 日（金）午後（四日市　末広橋梁・潮吹き防波堤ほか）
　全国大会　　2017 年 10 月 28 日（土）トヨタ産業技術記念館
　見学会　　2017 年 10 月 29 日（日）終日（松阪地区の産業遺産）
●豊田佐吉生誕 150 周年記念行事　2017/11/12（日）　　トヨタ産業技術記念館
●第 149 回例会/パネル展講演会　2017/12/03（日）13:00～17:00 名古屋市都市センター予定

――

【２】牟呂用水・松原用水の「世界灌漑遺産」登録について／天野武弘【New】

――

東三河を流れる牟呂用水、松原用水が 10 月 10 日に「世界かんがい施設遺産」に登録されました。

これらは、東三河を流れる豊川から取水し、神野新田などに供給する用水路として開削されたところです。牟呂用水、神野新田とも服部長七の人造石工法によって完成したところで、その遺構が各所に残っています。

なお、10 月の産業考古学会で見学する立梅用水も 26 年度にこれに登録されています。

詳細は次のサイトに掲載されています。
http://www.maff.go.jp/j/nousin/kaigai/ICID/his/his.html

今年度、日本からは松原用水・牟呂用水を含め下記の 4 つが登録されました。
サイトには下記のように記されています。

平成 29 年 10 月 10 日（火曜日）にメキシコ、メキシコシティーで開催された第 68 回国際執行理事会において、下記の施設が世界かんがい施設遺産に登録されました。
1.土淵堰(どえんぜき)(青森県弘前市、つがる市、藤崎町、板柳町、鶴田町)
2.那須疏水(なすそすい)(栃木県那須塩原市)
3.松原用水・牟呂用水(まつばらようすい・むろようすい)(愛知県豊橋市、豊川市、新城市)
4.小田井用水路(おだいようすいろ)(和歌山県橋本市、かつらぎ町、紀の川市、岩出市)

【３】ガラ紡を学ぶ会編著
『生誕 175 年記念 臥雲辰致・日本独創のガラ紡ーその遺伝子を受け継ぐー』
のご案内／天野武弘【New】

ガラ紡を学ぶ会編著
『生誕 175 年記念 臥雲辰致・日本独創のガラ紡ーその遺伝子を受け継ぐー』が 10 月 5 日に発売となりました。

出版日は臥雲辰致の生誕 175 年を記念した 2017 年 8 月 15 日としています。
昨年 2016 年 10 月に松本市で 1 か月間開催した〝臥雲辰致「ガラ紡」展示会〟をベースに、ガラ紡に関わる研究者ほか 17 名が執筆し、これまでの臥雲辰致やガラ紡の研究成果などををまとめた内容となっています。

研究会メンバーでは石田正治、野村千春、天野武弘が執筆しています。

A5 判、283 頁（口絵、目次など含め約 300 頁)、上製本、定価 2500 円＋税、です。
出版社は、豊川市の「シンプリブックス」。
すでに amazon の書籍サイトにも掲載されています。
購入については、添付の「新刊本のご案内」をご覧ください。
また天野武弘（amano-ta07@pro.odn.ne.jp）に連絡頂ければ割引価格での販売にも応じます。

添付の PDF ファイルを御参照下さい。

【４】トヨタ産業技術記念館「豊田佐吉生誕 150 周年特別企画 第五弾
特別展『引き継がれる佐吉の志 ～私たちの暮らし、トヨタグループと～』
11 月 12 日日曜日開催　鈴木一義先生講演会の参加申し込みについて【再送】

トヨタ産業技術記念館では、10/7～12/10 で、秋の佐吉特別展を開催中です。
その期間中の大人向けイベントとして、11/12 に鈴木一義氏の講演会を行います。
このたび、講演会への申込みの準備が整いましたので、改めてご案内致します。

【事前参加申し込みはこちらから　～聴講無料～】
http://www.tcmit.org/feature/

講演会の参加は無料ですが、産技館 HP より事前の申込みをお願いしています。

当日のスケジュールは次の通りです。

13：00　事前申込者の入場開始（産技館大ホール）
13：30　当日参加者の入場開始
14：00　開演
14：00～14：20　館長挨拶、産技館の現状紹介
14：30～15：45　鈴木一義氏講演「佐吉の生きた時代とその夢」
15：45～16：00　質疑応答

講演要旨：
明治維新直前の1867年に生まれた豊田佐吉氏は、鎖国から開国による大きな社会変化の中で「研究と創造」を旨として数々の発明を行い、「産業報国」を実践しました。
豊田佐吉氏の考え方をまとめた『豊田綱領』は、トヨタグループ共有の社是・基本理念の根本となっています。
この同時代には、他にも多くの発明や事業を為した人がいますが、決して大学などで近代科学や近代技術を学んだ人たちだけではなく、豊田佐吉氏のように在野にあって日本の近代技術発展に貢献した人は少なくありません。豊田佐吉氏らの偉業、すなわち日本の西欧化、近代化の成功は奇跡とも賞されますが、その理由も含めて、今日まで続いている日本の「モノづくり」について、豊田佐吉氏の生まれた江戸時代まで遡って考えてみたいと思います。

豊田佐吉生誕150周年特別企画 第五弾特別展
『引き継がれる佐吉の志 ～私たちの暮らし、トヨタグループと～』のご案内は
http://www.tcmit.org/information/news/2017/09/23630
にございますので、ご覧頂けますようお願い致します。ぜひ特別展にもおいで下さい。

【５】「愛岐トンネル群」6号トンネルインバート発掘調査会のお知らせ／山田貢【再送】

愛岐トンネル群保存再生委員会は、１１月１２日に６号トンネル春日井口のインバートを発掘することになりました。
６号トンネルの春日井口は、当初切通で工事を進めていたところ大きな崩落事故が発生しました。
そのためこの付近を切通からトンネルに変更したため、軟弱な地盤にトンネルを造ることになりました。
坑口付近のアーチは煉瓦７枚巻で、インバートが設置されました。
当時の記録を見ると大変な難工事であったことが分かります。
このインバートを発掘して、一般公開時にはインバートの全容を見せるとともに、
６号トンネル坑口の管状になった断面をみなさまに見ていただこうと思っています。
その、インバートの公開発掘調査を行うことになりました。

インバートの発掘は、国内では今までに例がないと聞いています。
気軽にご参加ください。
そして、よろしかったらインバートの発掘を無理のない範囲で体験してください。

参加申込やお問い合わせは、山田貢までお願いします。
yamada3a1415926535@ca2.so-net.ne.jp

以上

【注記】
11月12日はトヨタ産業技術記念館で国立科学博物館の鈴木一義先生のご講演がありますが、講演会への参加もご計画の方は、12:30頃までに愛岐トンネルの現場を出れば
ＪＲ定光寺駅12:53発の電車で金山で名鉄に乗り換えれば（乗り換え時間3分）、13:33に栄生着ですから、講演会の開始時刻に十分間に合うと思われます。

【６】産業考古学会　2017年度全国大会(名古屋)のご案内【再送】

産業考古学会　2017年度全国大会（名古屋）は、まだお申し込みが可能です。
１０月１１日以降は、参加費を会場でお支払い頂くことになります。

参加をご希望の方は石田正治先生まで電子メールでご連絡下さい。

１０月２９日の松阪地区の見学会のみ、定員になりましたので参加申し込みを締め切りました。
１０月２７日のプレ見学会、１０月

お申し込み先（石田正治先生メールアドレス）
ishida96@tcp-ip.or.jp

詳細は、１０月３日配信の電子メール版ニュースレターを御参照下さい。

--
■■■
中部産業遺産研究会のニューズレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様に
Google グループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会　会報編集委員・広報幹事　橋本　英樹
E-mail ： hidekih@wine.plala.or.jp
Copyright 2002-2014 The Chubu Society For The Industrial Heritage, Allrights reserved.
■■■

このメールは Google グループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。
このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには csih+unsubscribe@googlegroups.com にメールを送信してください。
https://groups.google.com/group/csih からこのグループにアクセスしてください。
その他のオプションについては、https://groups.google.com/d/optout にアクセスしてください。

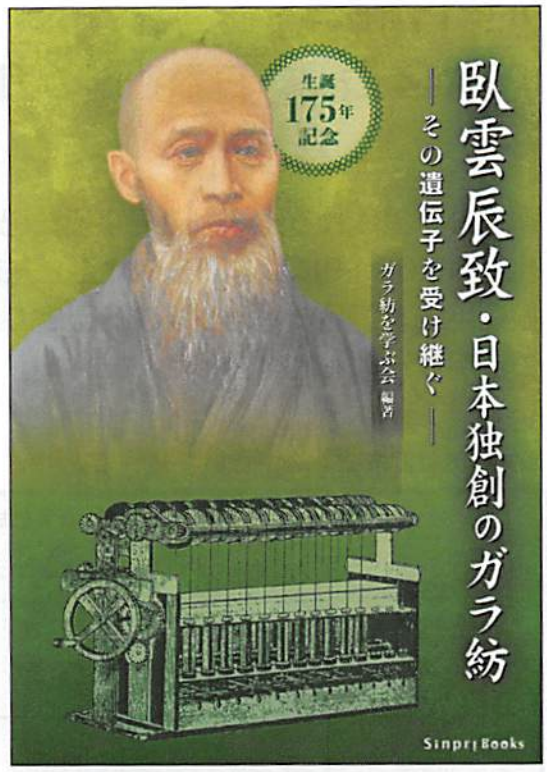
シンプリブックスより新刊本のご案内

生誕175年記念
臥雲辰致・日本独創のガラ紡
ーその遺伝子を受け継ぐー

ガラ紡を学ぶ会　編著

2017年 10月5日(木) 発売

A5版 / 上製本　300頁（カラー口絵４頁）
ISBN978-4-908745-00-3　本体価格 2,500円＋税
2017年8月15日発行



よみがえる大発明家

明治時代 ――――――――――

繊維業界に衝撃を与えたガラ紡機を発明するも、
特許制度がないために不遇の生活を送りながら
ひたむきに開発をつづけた発明家。
そんな発明家の生涯や発明品の数々を紹介。

◆プロフィール◆

臥雲辰致（1842－1900）

ガラ紡機を発明した人物。天保13年(1842)、長野県安曇野市の横山家の次男として生まれた。幼名は横山栄弥。故あって、臥雲山孤峰院の住職となるも、廃仏毀釈で還俗した。その際、山号の「臥雲」をとって「臥雲辰致」を名乗った。還俗後は、畑を耕作する傍らガラ紡の開発にのめり込み、発明家としての道を歩み始めた。明治10年(1877)、政府主導の博覧会「第１回内国勧業博覧会」にガラ紡機を出品し、最高の栄誉である鳳紋褒賞牌を受賞した。

SinpriBooks
シンプリブックス

〒442-0821 愛知県豊川市当古町西新井23-3
TEL.0533-75-6301
FAX.0533-75-6302
Email : sinpri@sinpri.co.jp

購入を希望される方は、お近くの書店にて本チラシ持参の上、注文いただくか、別添の「書籍購入申込書」をご記入いただき、FAXにてお申込ください。

※amazonからもご購入いただけます。

補充注文カード　流通センター　地方出版　取扱品

貴店名(帖合)

発行所名：シンプリブックス

書名・著者名：生誕175年記念 臥雲辰致・日本独創のガラ紡 ―その遺伝子を受け継ぐ― ガラ紡を学ぶ会 編著

注文制です。返品のないようにお願いします。

定価 (本体2,500円＋税)

注文数

ISBN978-4-908745-00-3 C0060 ¥2500E

【書籍購入申込書】

生誕175年記念

臥雲辰致・日本独創のガラ紡 ーその遺伝子を受け継ぐー

ガラ紡を学ぶ会 編著

購入を希望される方は、必要事項を記入していただき下記までFAXにてお送りください。
代金の3,000円には本冊子の代金と送料が含まれております。
振込用紙を製品と同封します。最寄りの郵便局にてお支払いください。
ご不明な点はお問い合わせください。

※太枠内は必ずご記入下さい。　　平成　　年　　月　　日

申込者 氏　名	※お振込みいただく際の氏名をお書きください。 （ふりがな）
送り先 住　所	〒
連絡先電話	（自宅か携帯）

価格（税込）	購入冊数	金額
3,000円 （本体2,700円＋送料300円）	冊	円

※本申込書に記入していただいた個人情報につきましては、個人情報保護法に基づき適切に管理いたします。
書籍郵送の目的以外では一切利用いたしません。

購入申込書のFAXの送り先はこちらまでお願いします。

FAX：(0533)75-6302

【お問い合わせ先】

Sinpri Books
シンプリブックス　（株式会社シンプリ内）

〒442-0821 愛知県豊川市当古町西新井23-3
TEL (0533)75-6301 FAX (0533)75-6302

豊田佐吉生誕150周年特別企画 第五弾

入場無料

引き継がれる佐吉の志
～私たちの暮らし、トヨタグループと～ 記念講演会

佐吉の生きた時代と その夢

2017年
１１月１２日（日）
14:00 ～ 16:00（開場 13:00）

場所：トヨタ産業技術記念館 大ホール

名古屋市西区則武新町４丁目 1-35

鈴木 一義氏

■ 講師　鈴木 一義氏　プロフィール

国立科学博物館　産業技術史資料情報センター　センター長

東京都立大学大学院工学研究科材料力学専攻修士課程終了。日本 NCR 株式会社技術開発部勤務を経て、1987 年より国立科学博物館理工学研究部、現在に至る。研究対象は、日本における技術の発展過程で、特に江戸時代から現代にかけての技術の発展状況を、博物館的な実物資料の視点から実証的な見地で調査、研究を行っている。

申込方法

公式 HP
http://www.tcmit.org/
よりご応募ください。
（先着３００名）

問合せ先

トヨタ産業技術記念館
TEL　052-551-6115

鉄道トンネルとして東海地方で初の国・登録有形文化財指定に指定

「愛岐トンネル群」インバート発掘調査会のお知らせ

はじめに

トンネルの基本構造は、地中に空洞を作り、内面を固定することで安全に通行できるようにするもの。通常私たちが目にしているのはトンネル内部の壁やアーチですが、地盤の状況によっては内径を取り巻くようにレンガで固定している構造（インバート）を有するトンネルがあることは専門家の間では知られています。しかし路盤の下の地下部分にあるため、実際にその姿を目にする機会はほとんどありません。

趣旨

愛知・岐阜両県にまたがる旧国鉄中央本線「愛岐トンネル群」の愛知県側にある「６号トンネル」でこのインバートの存在が判明し、一部分を掘り出しました。春と秋の特別公開でも、露出展示していましたが、見学者から「全容を知りたい」との希望が多数寄せられました。そこで今回、インバートを発掘し、記録を残すとともに公開することを目的に、下記の通り発掘調査を実施することになりました。

つきましては、貴重な機会となるインバート発掘の状況を公開いたしますので、ご来場賜りますようご案内申し上げます。

日時：平成29年11月12日（日）

午前9時30分～午後3時（予定）

場所：愛岐トンネル群　６号トンネル春日井側坑口　付近

（愛知県春日井市玉野町地内、JR 定光寺駅北300m（入り口））

主催：愛岐トンネル群保存再生委員会

後援：中部産業遺産研究会

調査指導：名古屋大学大学院　教育学部　教授

産業考古学会　理事長　　横山 悦生 先生

調査協力：三重県亀山市教育委員会　　稲富 正充

三重県桑名市教育委員会　　水谷 芳春

大阪府柏原市教育委員会　　石田　成年

春日井市教育委員会　　松村　一秀

お問合せ先

愛岐トンネル群保存再生委員会

理事長　村上　真善　　０９０－４８６０－４６６４

学会・研究会の皆様

申込・問合せ先：　山田貢　　Email：yamada3a1415926535@ca2.so-net.ne.jp

TEL：080-3644-1989

※参加者確認のため参加予定の方は山田貢までご連絡ください

アクセス：ＪＲ中央線定光寺駅下車、上流（多治見方面）へ300m

階段のゲートから入り、線路敷跡を約1300mお進みください（徒歩約20分）

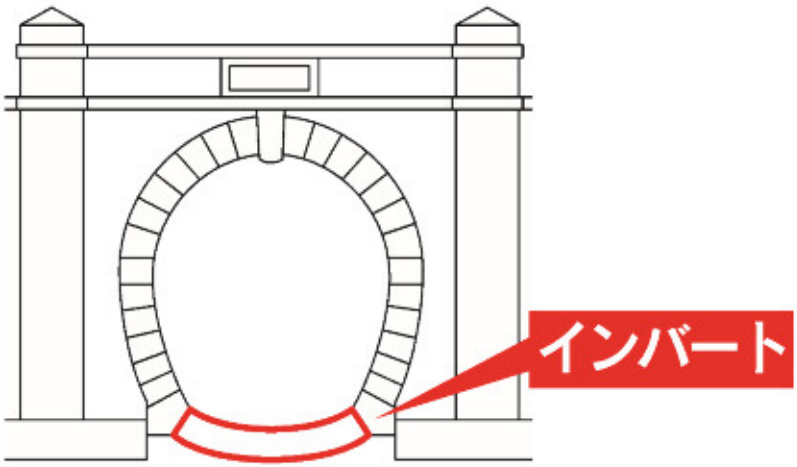
（駐車場はありませんので公共交通をご利用ください）

服装・持ち物：ウオーキングのできる服装でお越しください

飲料水・昼食・懐中電灯・タオル・軍手・防寒具・雨具など

山田貢（産業考古学会・中部産業遺産研究会・愛岐トンネル群保存再生委員会）

【参考情報】

インバートとは（土木用語）

トンネル底面の逆アーチに仕上げられた覆工部分。地質が不良な場合などにトンネルの両側側壁基部の間を、逆アーチで結合して、覆工コンクリートなどを閉合断面として耐力を増加させ、沈下・変状を防止するのが目的。